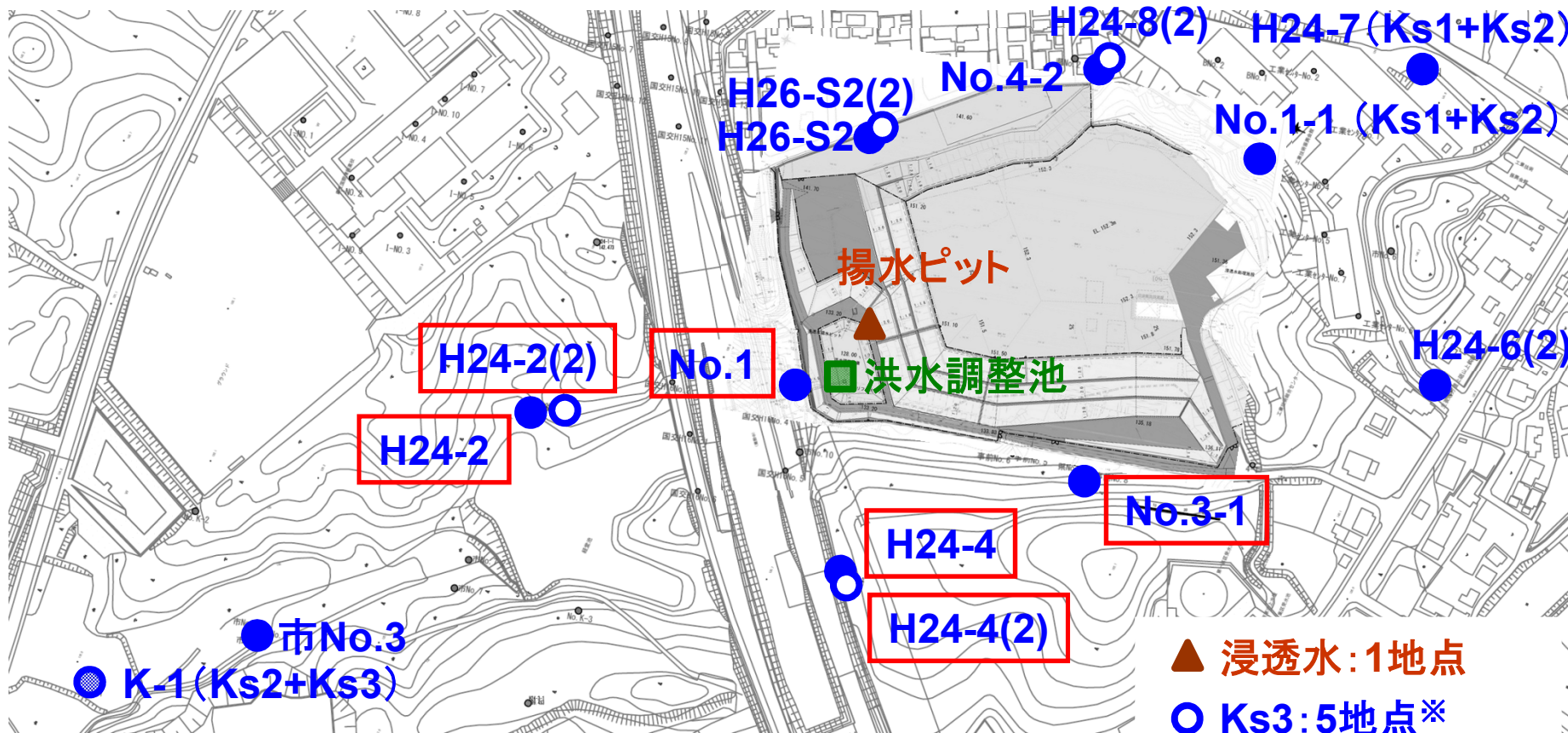


令和4年度第3回  
モニタリング調査結果について

令和5年(2023年)2月7日

# 調査地点



: 実施計画の目標達成状況の評価に用いる地点

- ▲ 浸透水: 1地点
- Ks3: 5地点\*
- Ks2: 11地点\*
- 表流水: 1地点

※K-1はKs3層とKs2層の地下水が合流しているため、両方に計上している。

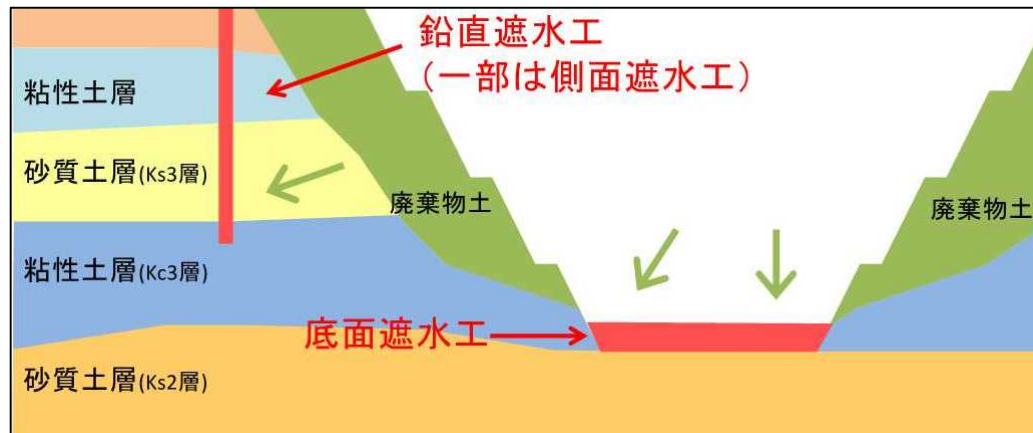
調査日

◆ 令和4年(2022年)10月17日

(特記事項)

- H24-8(2)は、水量が僅かであったためpHおよびECのみを測定した。

(参考)地下水帯水層と遮水工事の位置関係

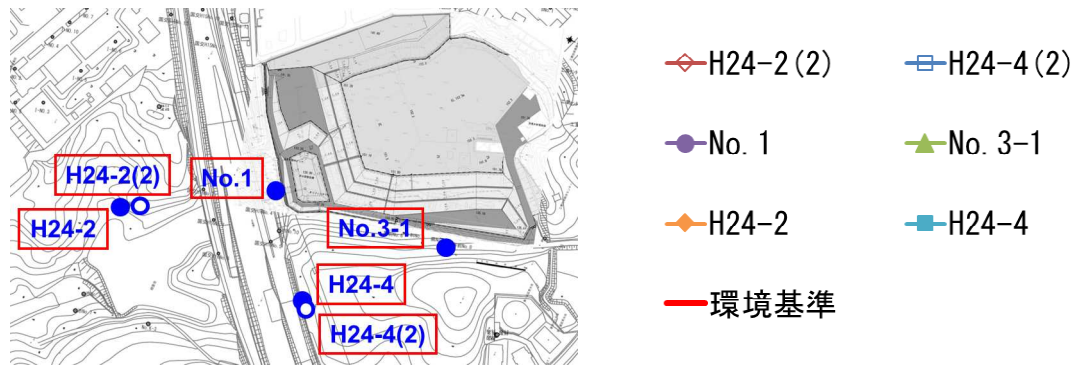


- ◆ 廃棄物土層の側面に砂質土層(Ks3層)が接しており、廃棄物土に触れた浸透水が漏洩していたため、鉛直遮水工または側面遮水工により遮水した。
- ◆ 廃棄物土層の底面において粘性土層(Kc3層)が欠損しており、廃棄物土層の底面に接した砂質土層(Ks2層)へ廃棄物土に触れた浸透水が漏洩していたため、底面遮水工により遮水した。

# 経年モニタリング調査について

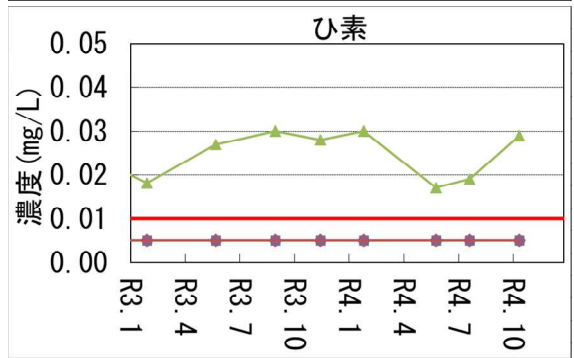
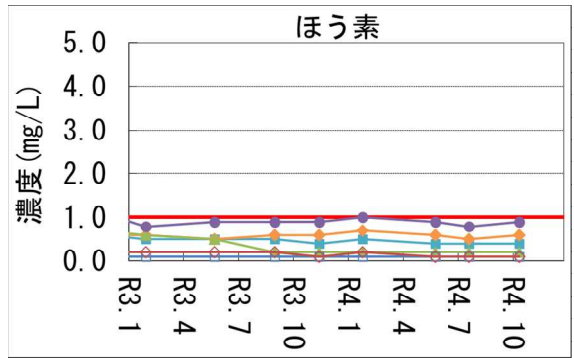
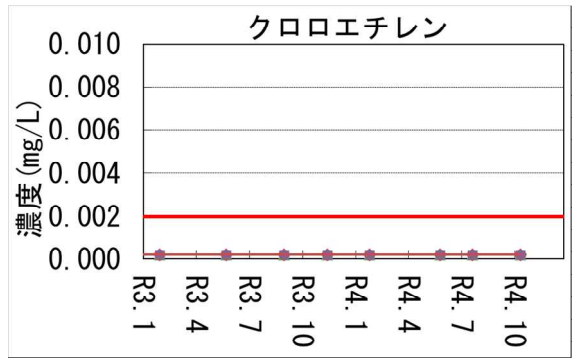
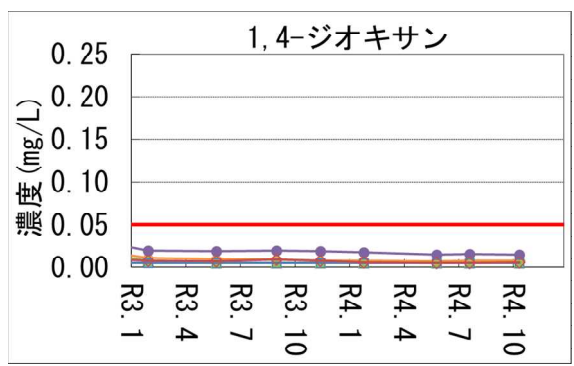
## 1 目標達成状況の評価対象地点の状況

- 産廃特措法に基づく実施計画の目標達成状況の評価には、調査地点のうち下図の評価対象地点6地点の結果を用いることとしている。  
(令和2年11月第35回連絡協議会資料3-1)
- 二次対策工事の着手(H25(2013).12.20)以降に地下水環境基準を超過したことがある項目について、工事が終了したR3(2021).1以降の2年間、8回分の結果をグラフに表示した。また、全項目の分析結果の一覧表をP.18~P.20に表示した。
- ひ素について、No.3-1で継続して環境基準を超過しているが、超過原因は自然由来と考えられる。(令和3年9月第38回連絡協議会資料2-2)
- その他の項目は環境基準の超過はなかった。



(参考) 産廃特措法実施計画の目標達成状況の評価  
評価対象地点6地点における結果を用いる。

- ・ 測定値の年平均値が環境基準に2年間適合すること。
- ・ 処分場が原因でない項目は除く。

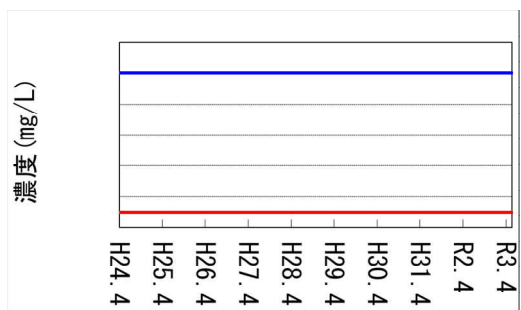


# 経年モニタリング調査について

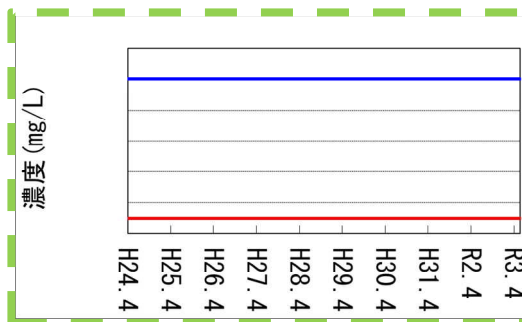
## 2 項目ごとの経年変化状況

- (P.6~P.15) 二次対策工事の着手(H25(2013).12.20)以降に地下水調査地点で地下水環境基準を超過したことがある項目(ひ素、ほう素、クロロエチレン、1,4-ジオキサン)および電気伝導度について、経年変化のグラフを帯水層ごとに表示した。
- グラフは平成24年度以降のグラフとし、それ以前の測定結果をグラフ左端に白抜きで示した。
- 定量下限値未満の場合、定量下限値としてグラフに表示した。
- なお、洪水調整池についてはP.16に結果を示した。

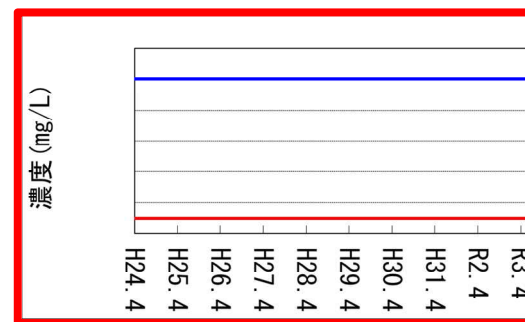
### 凡例



今回不検出

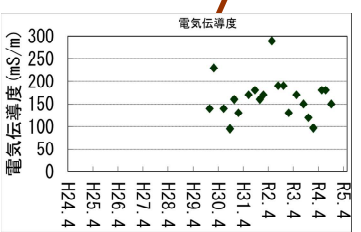
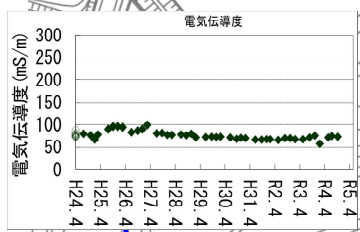
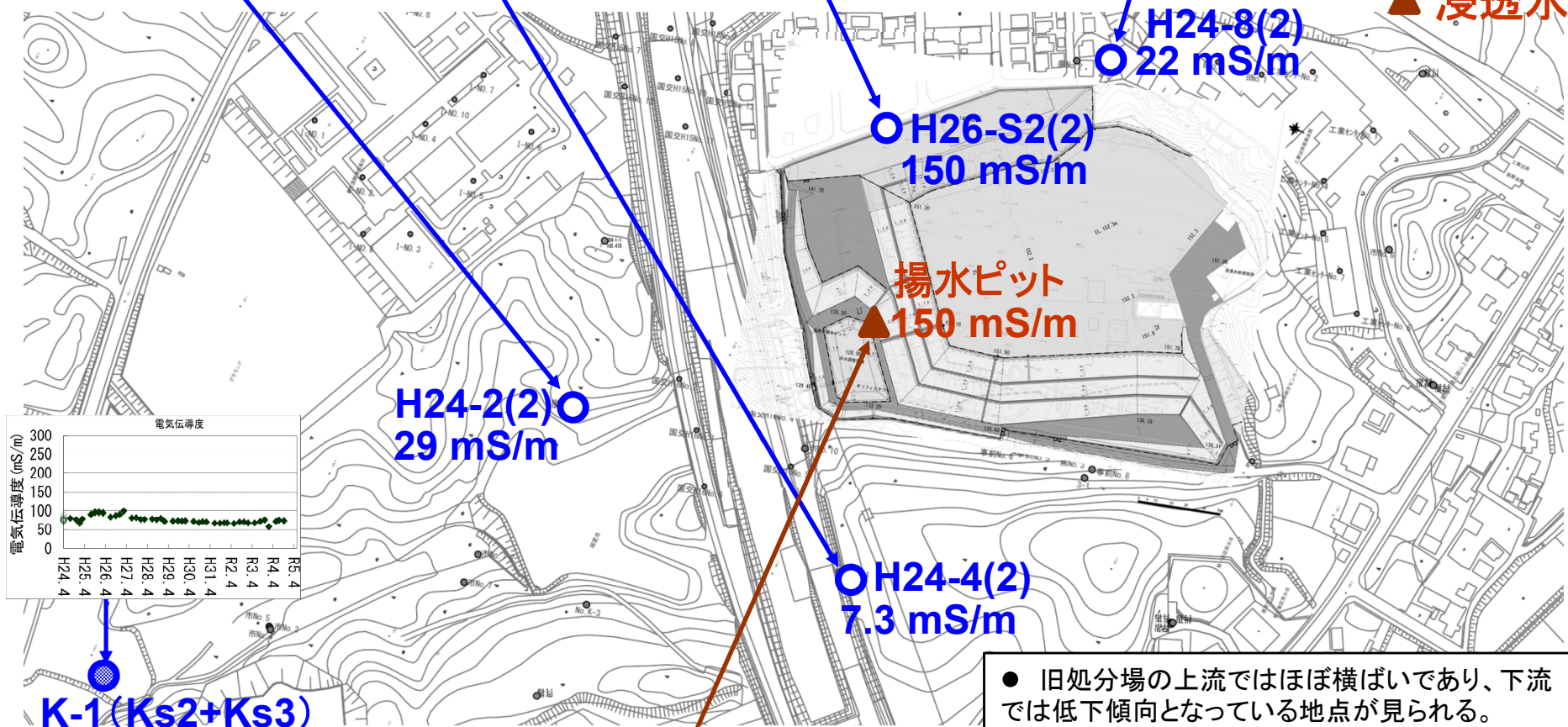
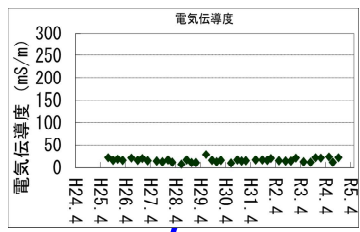
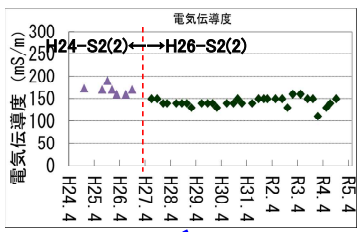
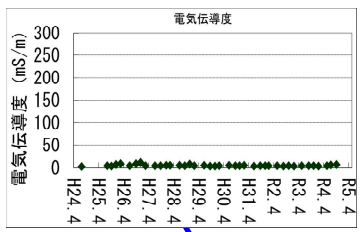
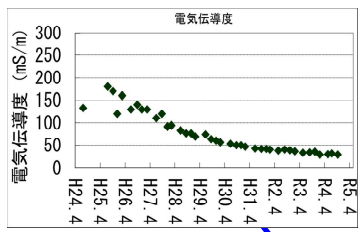


今回環境基準以下で検出



今回環境基準超過

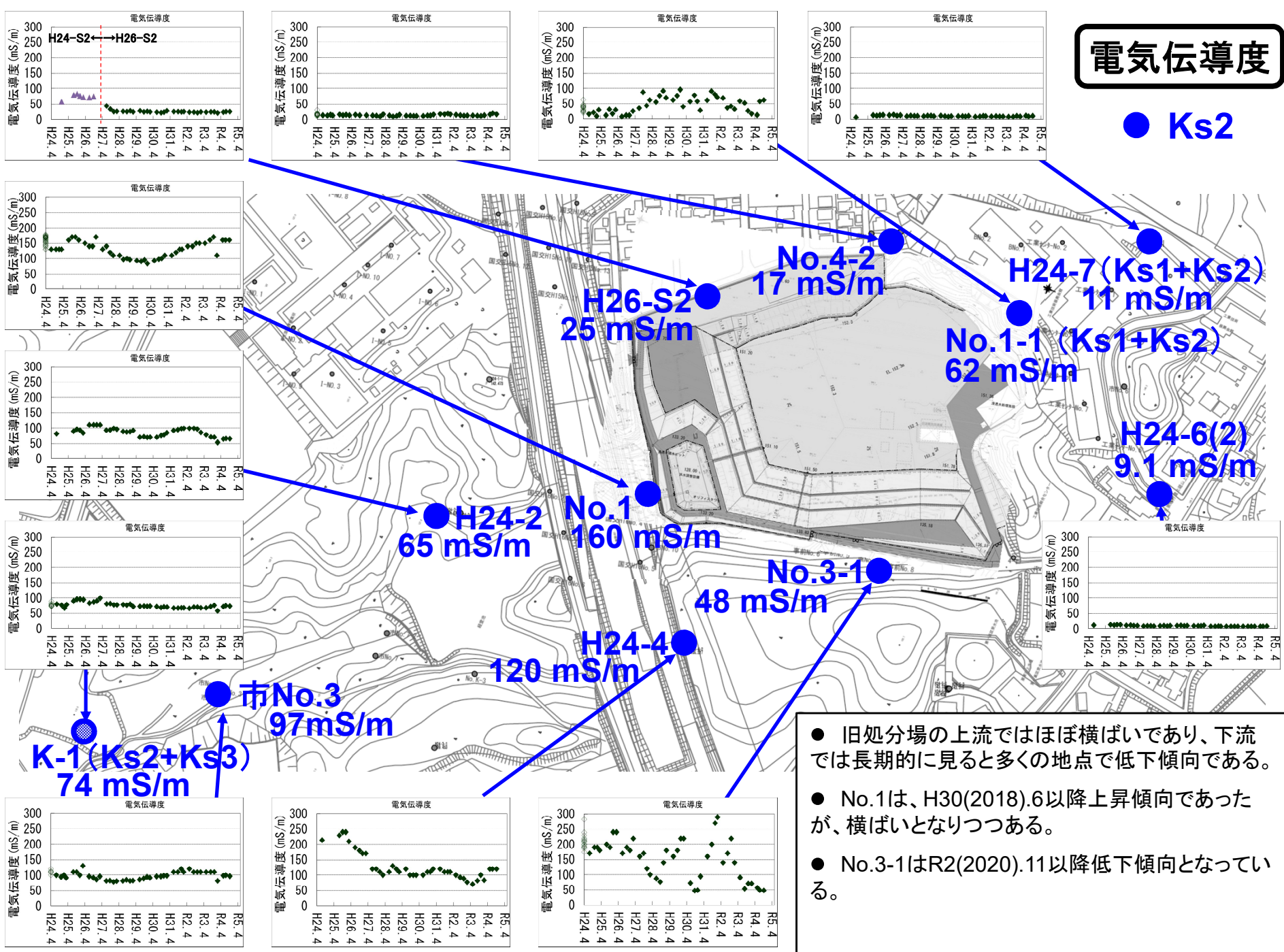
# 電気伝導度



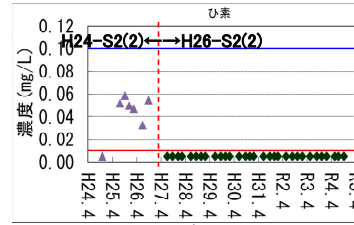
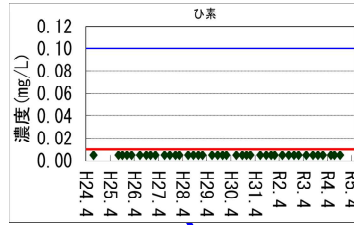
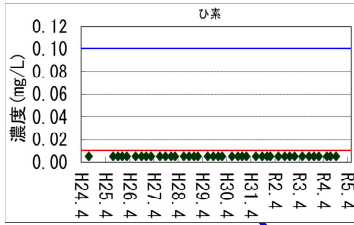
- 旧処分場の上流ではほぼ横ばいであり、下流では低下傾向となっている地点が見られる。
- H24-2(2) は、H25(2013).7以降低下傾向である。

# 電気伝導度

● Ks2



- 旧処分場の上流ではほぼ横ばいであり、下流では長期的に見ると多くの地点で低下傾向である。
- No.1は、H30(2018).6以降上昇傾向であったが、横ばいとなりつつある。
- No.3-1はR2(2020).11以降低下傾向となっている。

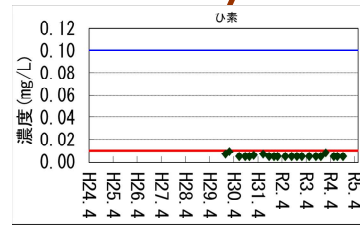
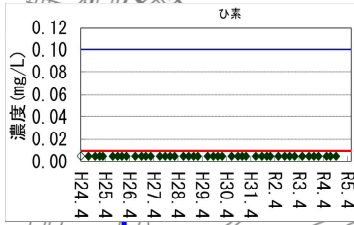
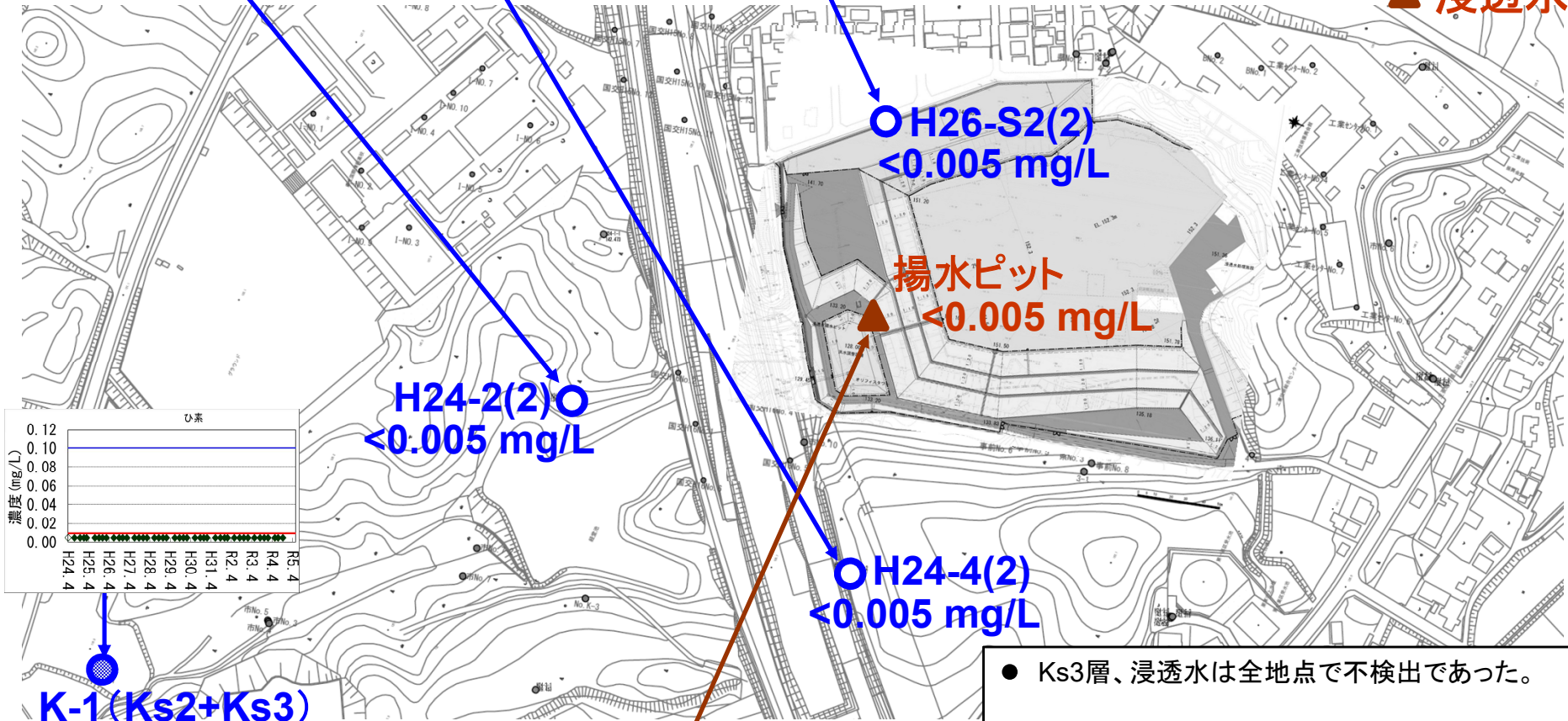


(参考)  
管理型最終処分場  
排水基準  
環境基準

# ひ素

○ Ks3

▲ 浸透水



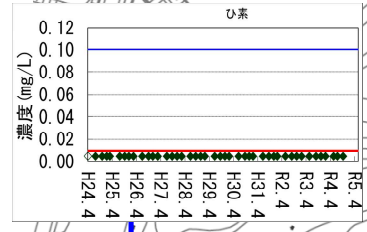
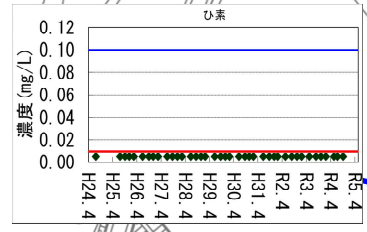
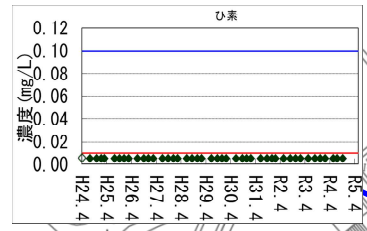
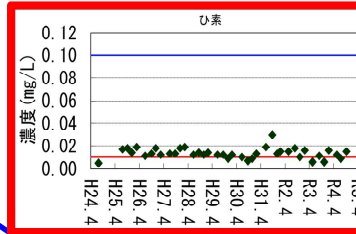
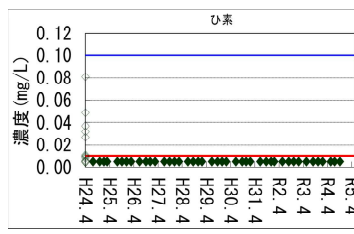
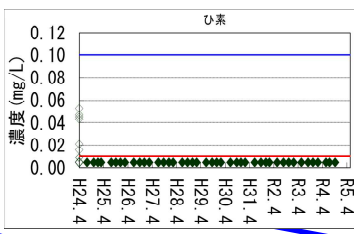
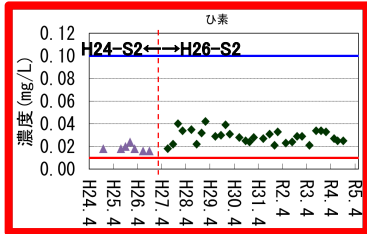
環境基準  
0.01 mg/L

● Ks3層、浸透水は全地点で不検出であった。

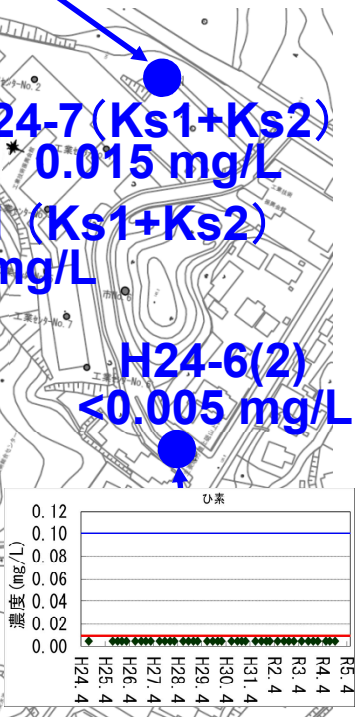
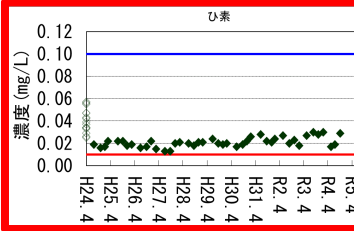
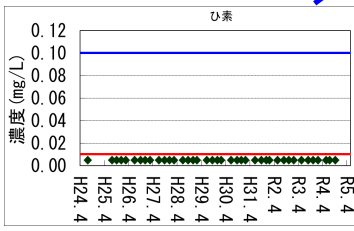


# ひ素

● Ks2



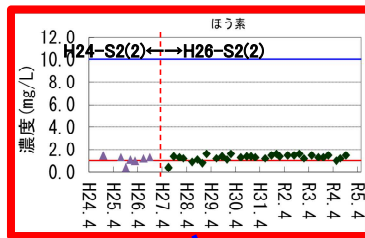
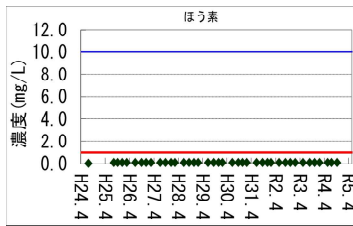
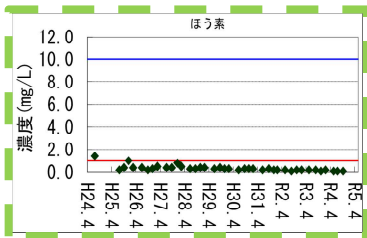
**環境基準**  
**0.01 mg/L**



● H24-7 (Ks1+Ks2) 0.015 mg/L  
 ● No.4-2 <0.005 mg/L  
 ● H26-S2 0.025 mg/L  
 ● No.1-1 (Ks1+Ks2) <0.005 mg/L  
 ● H24-6(2) <0.005 mg/L  
 ● H24-2 No.1 <0.005 mg/L  
 ● No.1 <0.005 mg/L  
 ● H24-4 <0.005 mg/L  
 ● No.3-1 0.029 mg/L  
 ● K-1 (Ks2+Ks3) <0.005 mg/L

● H24-7、H26-S2、No.3-1の3地点で環境基準を超過した。なお、基準超過原因はいずれも自然由来と考えられる。

● 3地点とも概ね横ばいで推移しており、大きな変化は見られない。

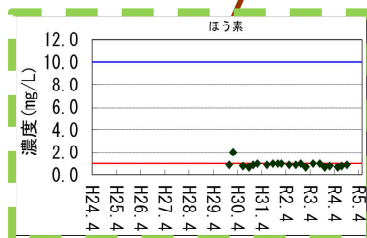
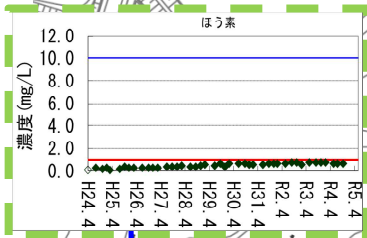
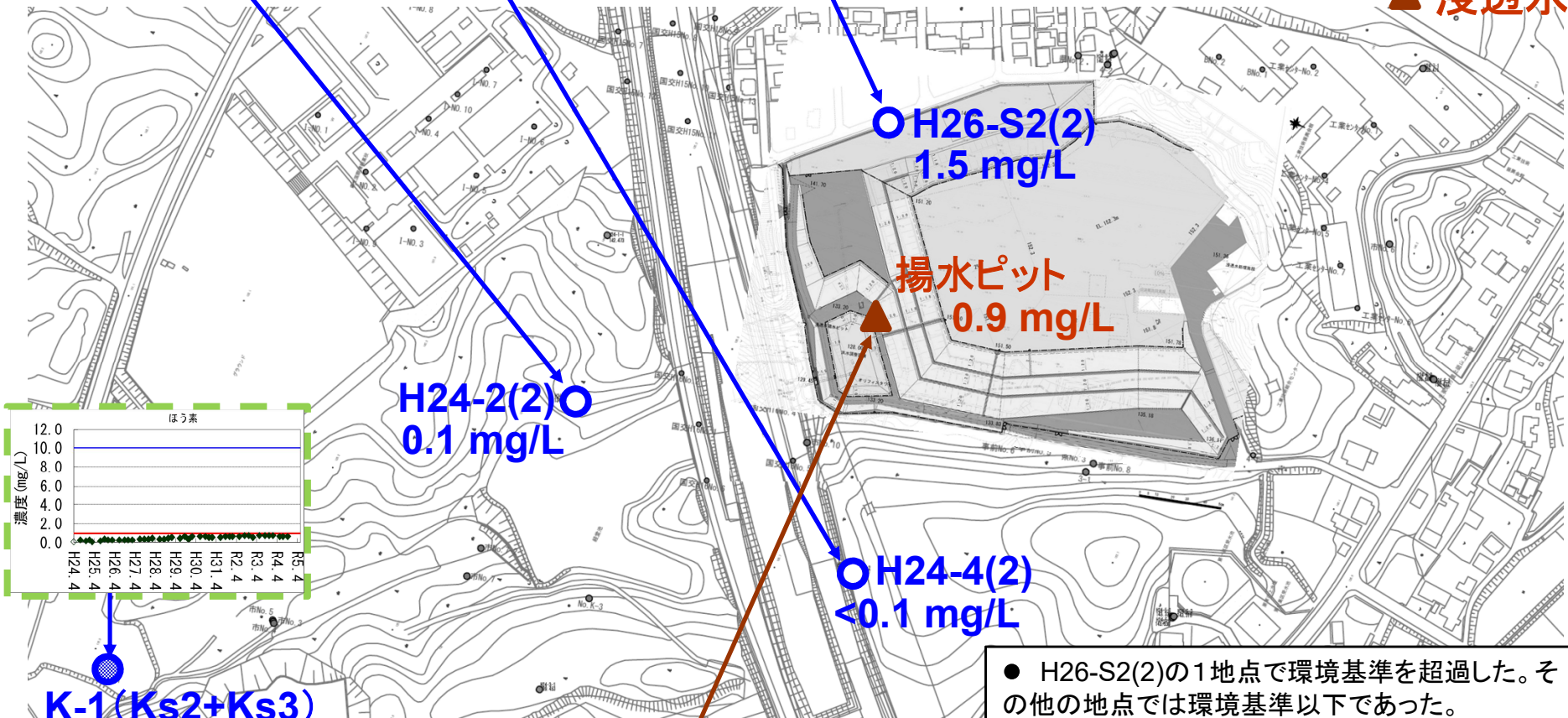


(参考)  
管理型最終処分場  
排水基準  
環境基準

# ほう素

○ Ks3

▲ 浸透水



環境基準  
1 mg/L

- H26-S2(2)の1地点で環境基準を超過した。その他の地点では環境基準以下であった。
- H26-S2(2)は、環境基準値前後で横ばい傾向である。
- 揚水ピットは、環境基準値前後で横ばい傾向である。